

## 【別紙2:公益目的支出計画実施報告書】

### 2. 公益目的支出計画実施報告書

【 令和 7 年度( 令和7年4月1日 から 令和8年3月31日 まで)の概要】

1. 公益目的財産額	81,816,496 円
2. 当該事業年度の公益目的収支差額(①+②-③)	47,560,396 円
①前事業年度末日の公益目的収支差額	43,237,902 円
②当該事業年度の公益目的支出の額	6,911,679 円
③当該事業年度の実施事業収入の額	2,589,185 円
3. 当該事業年度末日の公益目的財産残額	34,256,100 円
4. 2の欄に記載した額が計画に記載した見込み額と異なる場合、その概要及び理由 <sup>注</sup>	
計画作成時点の見込みに比べ、公益目的支出の額が見込みを大きく下回ったが、これは徴収した農地賃借料を同期中に支払うことから、支出、収入から省いた為で、公益目的財産残額の計画額との差額は、5,599,756円で、実施期間があと12年間あり、今後の事業推進により調整可能と考えるが、今後差額が大きくなるようであれば、完了予定事業年度の前倒しも検討する。	

注: 詳細は、別紙様式に個別の実施事業等ごとに記載してください。

### 【公益目的支出計画の状況】

公益目的支出計画の完了予定事業年度の末日	①. 計画上の完了見込み	令和20年3月31日
	②. ①より早まる見込みの場合	

	前事業年度		当該事業年度		翌事業年度
	計画	実績	計画	実績	計画
公益目的財産額	81,816,496 円	81,816,496 円	81,816,496 円	81,816,496 円	81,816,496 円
公益目的収支差額	38,463,920 円	43,237,902 円	41,960,640 円	47,560,396 円	45,457,360 円
公益目的支出の額	15,566,720 円	6,844,226 円	15,566,720 円	6,911,679 円	15,566,720 円
実施事業収入の額	12,070,000 円	2,749,451 円	12,070,000 円	2,589,185 円	12,070,000 円
公益目的財産残額	43,352,576 円	38,578,594 円	39,855,856 円	34,256,100 円	36,359,136 円

※前事業年度及び当該事業年度の計画及び実績の額、翌事業年度の計画の額を記載してください。

## (2)[公益目的支出計画実施報告書]

## 【実施事業(継続事業)の状況等】

(事業単位ごとに作成してください。)

事業番号		事業の内容
継	1	農地保全管理事業

## (1) 計画記載事項

事業の概要	
<p>【事業の趣旨】 本事業は、農地中間管理事業として農地の保有合理化を促進することにより、生産性の高い近代的農業を確立し、もって農林業者の経済的社会的地位の向上を図ることを目的とする事業である。 (1)、(2)の事業は農地を保全するという共通の目的を達成するための手段として位置付けられることから、ひとつの事業としてまとめました。</p> <p>【事業内容】 (1)農地中間管理事業 法改正により農地利用集積円滑化事業は終了したが、農業経営の規模拡大、農地の集団化やその他の農地保全の合理化を促進するため、農地中間管理団体として離農農家や規模を縮小する農家などから農地の借り入れ、当該農地を担い手農家に貸し付ける業務を中間管理機構から受託している。しかし、近年、引き受け手のない農地は漸増状態にある。引き受け手のない農地のほとんどは、耕作条件の厳しい農地であり、地域に広く分散しているため、このことが農作業の効率化、合理化を阻む原因となっている。このような状況から、公社は、当該引き受け手のない農地を受け入れ、公社から分社化した農業生産法人「有限会社 大山田ファーム」が耕作を行うことにより、農地中間管理団体としての使命を全うし、また、地域農業の健全な発展に寄与する。</p> <p>(2)土地利用協議会の運営 各集落の土地利用組合長で組織する土地利用協議会を運営し農地の調整を行う。</p> <p>【財源】 農地地用事業収入を財源とする。</p> <p>【業務委託】 なし</p>	
① 当該事業に係る公益目的支出の見込額	9,853,200 円
② 当該事業に係る実施事業収入の見込額	9,000,000 円

## (2) 当該事業年度の実施状況

事業の実施状況について	
<p>(1)農地利用集積円滑化事業:当該年度は引き受け面積の合計が225ha.で、うち地元で引き受け手のない農地として110ha.が有限会社大山田ファームが耕作をおこなった。又、中間管理機構の業務代行として185件の利用権設定事務手続きを行った。</p> <p>(2)土地利用協議会の運営:令和7年8月12日に協議会を開催し、今後の耕作者減少に伴う問題について協議した。</p>	
① 当該事業に係る公益目的支出の額	719,761 円
② 当該事業に係る実施事業収入の額	589,185 円
③ (①-②)の額	130,576 円
④ 当該事業に係る損益計算書の費用の額	719,761 円
⑤ 当該事業に係る損益計算書の収益の額	589,185 円
①及び②に記載した額が計画に記載した額と異なる場合、その内容及び理由 <sup>注1</sup>	
<p>計画策定時点の見込みに比べ、継1における実施事業収入の額及び支出の額共に下回り、公益目的収支差額が計画における見込みを下回ったものである。公益目的支出計画に記載した公益目的支出額及び実施事業収入が実績額と異なったのは、農地賃借料の徴収及び支払いを会計上「預り金」とし、収入及び支出に反映なかったことによる。尚、公益目的支出計画の実施期間はあと13年間である一方、公益目的収支差額の計画額との差額は863,624円であるが、一時的に人出を継2に移したものであり、今後の実施事業の規模を鑑みても、公益目的支出計画全体に影響を与えるものではない。</p>	

注1:この事業に係る公益目的支出の額等の変更が、公益目的支出計画全体の実施に影響を与えるか否かについても記載してください。

### (3) 実施事業資産の状況等

番号 <sup>注2</sup>	資産の名称	時価評価資産の 算定日の時価	移行後に 取得した場合の 取得価額	前事業年度末日 の帳簿価額	当該事業年度 末日の帳簿価額	使用の状況
		円	円	円	円	
		円	円	円	円	

注2: 算定日に有していた資産については、移行認可申請書(別表A公益目的財産額の算定)に記載した資産の番号(イ1、ロ2・a1・など)を記載してください。

#### 【実施事業収入の額の算定について】

①「損益計算書の収益の額」に対応した②「実施事業収入の額」を記載し、その算定に当たっての考え方を記載してください。

損益計算書の科目	①損益計算書の 収益の額	②実施事業 収入の額	②の額の算定に当たっての考え方 <sup>注3</sup>
事業収益	730,185 円	730,185 円	継1についての小作料、中間管理業務委託料は実施事業に係る対価収入であるため実施事業収入とする
雑収益	0 円	0 円	
計	589,185 円	589,185 円	

注3: 実施事業収入の額の算定の記載事項について、必要な説明書類を添付してください。

#### 【公益目的支出の額の算定について】

①「損益計算書の費用の額」に対応した②「公益目的支出の額」を記載し、その算定に当たっての考え方を記載してください。

損益計算書の科目	①損益計算書の 費用の額	②公益目的 支出の額	②の額の算定に当たっての考え方 <sup>注4</sup>
その他	719,761 円	719,761 円	異なる費用科目はない
	0 円	0 円	
計	719,761 円	719,761 円	

注4: ①と②が同額である場合には、「科目」欄を「その他」として、まとめた額を①及び②欄に記載してもかまいません。

## (2)[公益目的支出計画実施報告書]

## 【実施事業(継続事業)の状況等】

(事業単位ごとに作成してください。)

事業番号		事業の内容
継	2	特産品開発事業

## (1) 計画記載事項

事業の概要	
<p><b>【事業の趣旨】</b> 本事業は、地域で生産される農産物を加工し特産品を開発することにより地域ブランド力を高めるとともに、雇用の創出を図る。また農業への理解を深めることにより、市民生活のゆとりと豊かさの実現に貢献し、もって地域の活性化に寄与することを目的とする。また、市の菜種搾油施設を管理することにより、市の推進している「伊賀市菜の花プロジェクト」を推進することで環境にやさしい農業を実践するとともに地域の特産品として普及に努める。</p> <p>(1)～(3)の事業は特産品を開発するという共通の目的を達成するための手段として位置付けられることから、一つの事業としてまとめました。</p> <p><b>【事業の内容】</b> (1)特産品の開発 伊賀市で生産される農産物の認知度を高め、消費者に優位に販売することを目指し設置され、農産物加工所において東海農政局、地域農業改良普及センター、(公財)三重県農林水産支援センター、JA等の情報提供・商品開発・販路拡大などの協力を得て取り組んでいる。今後も商品化に向けた取り組みを重点的に進める。</p> <p>(2)地域特産物等の研修開発及び栽培 中山間地での転作対応と併せ新規作物導入研究として、栽培・販売及び加工の検討を行う。また、優位性を持つ作物の特産化を目的として地域団体等と協力して、栽培研修及び商品開発事業を行う。また林間・林床の有効活用として、根ではなく葉や茎を利用する「畑わさび」を栽培する。新たな特産品となる「畑わさび」を地域に定着させることにより、就労の場を創出し、地域の活性化につなげるため「畑わさび生産組合」を中心に栽培技術の研修を図る。</p> <p>(3)菜種搾油施設管理事業 平成24年度より菜種搾油施設の指定管理を受け、資源環境社会のモデルとして「伊賀市菜の花プロジェクト」に寄与する。</p> <p><b>【財源】</b> 研究受託収入、指定管理料収入を財源とする。</p> <p><b>【業務委託】</b> 菜種搾油施設の浄化槽・防災・受電設備点検委託料</p>	
① 当該事業に係る公益目的支出の見込額	5,713,520 円
② 当該事業に係る実施事業収入の見込額	3,070,000 円

## (2) 当該事業年度の実施状況

事業の実施状況について	
<p>(1)特産品の開発 伊賀市で生産される農産物の認知度を高め、消費者に優位に販売することを目指し設置され、農産物加工所において東海農政局、地域農業改良普及センター、(公財)三重県農林水産支援センター、JA等の情報提供・商品開発・販路拡大などの協力を得て取り組んでいる。今後も商品化に向けた取り組みを重点的に進めた。</p> <p>(2)地域特産物等の研修開発及び栽培 中山間地での転作対応と併せ新規作物導入研究として、栽培・販売及び加工の検討を行った。尚、「畑わさび」について今年度は栽培実績はなかったが、事務局に「栽培相談窓口」を開設し、新規栽培者を募集している。</p> <p>(3)菜種搾油施設管理事業 平成24年度より菜種搾油施設の指定管理を受け、資源環境社会のモデルとして「伊賀市菜の花プロジェクト」に寄与している。</p> <p><b>【財源】</b> 研究受託収入、指定管理料収入を財源としている。</p> <p><b>【業務委託】</b> 菜種搾油施設の浄化槽・防災・受電設備点検委託料</p>	
① 当該事業に係る公益目的支出の額	6,191,918 円
② 当該事業に係る実施事業収入の額	2,000,000 円
③ (①-②)の額	4,191,918 円
④ 当該事業に係る損益計算書の費用の額	6,191,918 円
⑤ 当該事業に係る損益計算書の収益の額	2,000,000 円
①及び②に記載した額が計画に記載した額と異なる場合、その内容及び理由 <sup>注1</sup>	

令和4年度から指定管理料が減額となったため、事業収入の額が減額となっている

注1:この事業に係る公益目的支出の額等の変更が、公益目的支出計画全体の実施に影響を与えるか否かについても記載してください。

### (3) 実施事業資産の状況等

番号 <sup>注2</sup>	資産の名称	時価評価資産の算定日の時価	移行後に取得した場合の取得価額	前事業年度末日の帳簿価額	当該事業年度末日の帳簿価額	使用の状況
a 1	建物(農林水産加工施設)	5,079,984 円	10,538,700 円	1,479,621 円	1,479,621 円	
a 5	什器備品(ステンレス台他)	143,221 円	1,002,750 円	1 円	1 円	

注2:算定日に有していた資産については、移行認可申請書(別表A公益目的財産額の算定)に記載した資産の番号(イ1、ロ2・・a1・など)を記載してください。

### 【実施事業収入の額の算定について】

①「損益計算書の収益の額」に対応した②「実施事業収入の額」を記載し、その算定に当たったの考え方を記載してください。

損益計算書の科目	①損益計算書の収益の額	②実施事業収入の額	②の額の算定に当たったの考え方 <sup>注3</sup>
事業収益	0 円	0 円	
指定管理料	2,000,000 円	2,000,000 円	継2についての指定管理料は用途が当該事業となるため実施事業収入とする。
その他	0 円	0 円	
計	2,000,000 円	2,000,000 円	

注3:実施事業収入の額の算定の記載事項について、必要な説明書類を添付してください。

### 【公益目的支出の額の算定について】

①「損益計算書の費用の額」に対応した②「公益目的支出の額」を記載し、その算定に当たったの考え方を記載してください。

損益計算書の科目	①損益計算書の費用の額	②公益目的支出の額	②の額の算定に当たったの考え方 <sup>注4</sup>
その他	6,191,918 円	6,191,918 円	異なる費用科目はない。
	円	円	
計	6,191,918 円	6,191,918 円	

注4:①と②が同額である場合には、「科目」欄を「その他」として、まとめた額を①及び②欄に記載してもかまいません。

令和8年5月26日

一般社団法人 大山田農林業公社  
会長 上田 賢博 様

一般社団法人 大山田農林業公社

監事 澤村 正樹

監事 福森 里枝子

### 監査報告書

私たち監事は、令和7年4月1日から令和8年3月31日までの当法人の事業年度の理事の職務の執行について監査を行いましたので、法令等の規定に基づき本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

#### 1 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事及びその使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会に出席し、理事等からその職務の執行について報告を受け、書類等を閲覧し、令和8年5月19日及び26日に当法人の事務所において業務及び財産の状況を調査しました。

以上の方法によって、当該年度に係る事業報告及びその附属明細書を監査しました。さらに会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該年度に係る計算書類及びその附属明細書について監査しました。

#### 2 監査の結果

##### 公益目的支出計画実施報告書の監査結果

公益目的支出計画実施報告書は、特例民法法人が新公益法人制度において一般社団法人等に移行する場合に、公益法人として形成された財産が無制限に公益の目的以外に消費されることがないように計画的に当該目的のために支出することが義務付けられており、行政庁へ報告をすることとなっています。当法人では、約 8,100 万円余の公益目的財産について、令和 19 年度に支出を完了する計画としていますが、これまでは公益目的以外の事業でも赤字が常態化していたため、適切とは言い難い状況である中、経営改善を図り、今年度において赤字を脱却したものの、わずかな黒字に留まり、法人活動全般において経営状況はなお健全とは言い難く、今後、更に経営改善に努め、安定的な経営を維持し、当該事業の赤字を補う資金を確保できなければ、計画の実現性が困難な状況であると思われます。

第2号議案

理事及び監事の一部改選について

上記案件について下記のとおり承認を求める。

令和8年6月13日

一般社団法人大山田農林業公社  
会 長 上 田 賢 博

記

一般社団法人 大山田農林業公社 改選役員（案）

	役職	氏 名	備 考
辞任	監 事	福森 里枝子	
辞任	監 事	澤村 正樹	
新任	監 事	川部 千佳	伊賀市会計管理者
新任	監 事	浅野 太一	伊賀ふるさと農協大山田支店長

以上

## 令和 8 年度役員名簿（案）

役職	氏名
代表理事	上田 賢博
理 事	西口 育男
理 事	堀川 敬二
理 事	福山 朋宏
理 事	村上 靖尚
理 事	宮本 長生
理 事	川瀬 成清
理 事	岡田 知也
理 事	小坂 治一
理 事	中川 博昭
理 事	中尾 彰克
理 事	増山 亨
理 事	曾我 隆清
理 事	谷口 昌平
理 事	小野 元治
監 事	川部 千佳
監 事	浅野 太一

令和8年度  
事業計画・収支予算書

一般社団法人 大山田農林業公社

大山田農林業公社  
令和8年度 事業計画

大山田農林業公社は、近年の厳しい経営環境のもと、事業の見直しおよび経費削減を進め、経営基盤の安定化に取り組んでまいりました。令和7年度においては、事業縮小の効果検証および原価管理の強化を進め、収支構造の改善を図ったところです。

令和8年度は、これまでの改革の成果を踏まえつつ、引き続き経営健全化を推進しながら、公的性格を有する団体として地域農業振興に資する事業を着実に実施してまいります。

令和8年度予算における重点課題は、

- (1) 農産物加工施設の安定的運営と原価管理の高度化
  - (2) 伊賀市資源循環型農業推進施設の適正管理と有効活用
- の2点とします。

令和8年度の経営においては、事業ごとの収支状況を的確に把握し、月次での検証を行いながら、必要に応じて速やかな改善措置を講じます。特に加工事業については、製造工数および原材料使用量の精査を行い、商品管理システムの活用により原価管理の精度向上を図ります。

また、農地の中間管理事業については、制度変更後の契約業務を円滑に実施するため、農業委員会と連携し、データ管理体制の適正運用に努めます。

伊賀市資源循環型農業推進施設においては、菜種油搾油施設の安定稼働を図るとともに、施設の有効活用により地域資源循環の推進に寄与します。

#### 1. 農業農村活性化事業

- (1) 各種イベント、研修会への参加（リモートを含む）
- (2) 着地型観光等、都市農村交流の取り組み

#### 2. 土地利用協議会の再活用

(1) 活動が停滞している各地区協議会について、関係機関と連携し、農地集積・担い手支援の実務的機能の回復を図ります。

#### 3. 農地保全管理事業

- (1) 中間管理機構（公益財団法人三重県農林水産支援センター）との連携強化

#### 4. 農産物加工施設の運営

- (1) 安全・安心な農産加工品の製造、販売
  - (2) 食育および地産地消運動の推進
  - (3) 需要動向を踏まえた商品構成の見直し
  - (4) 受託事業の拡大
5. 伊賀市資源循環型農業推進施設（伊賀市からの指定管理施設）の管理運営
- (1) 菜種油搾油施設「菜の舎」の管理運営および安定稼働
  - (2) 伊賀産菜種油「七の花」の普及促進
  - (3) 搾油施設の有効利用（他種子等の搾油受託）
6. 農業生産法人「有限会社大山田ファーム」との連携
- (1) 生産者団体との連携による経営安定化支援
7. 農業小学校の運営支援（農村と都市との相互交流事業）
- (1) 野菜の栽培指導
  - (2) おおやまだ農業小学校事務局
8. その他
- 公社の目的達成に必要な事業について、関係機関と連携し適切に実施します。

令和8年度 一般社団法人大山田農林業公社予算総括表

(単位:円)

科 目	公益事業会計	収益事業会計	法人会計	合 計	R7予算差
I. 事業活動収支の部					
1. 事業活動収入					
預り出資金運用収入	0	0	44,000	44,000	44,000
会費収入	0	0	6,299,000	6,299,000	△ 342,000
補助金等収入	0	0	0	0	△ 500,000
農地中間管理事業収入	500,000	0	0	500,000	170,000
特産品事業収入	0	10,947,000	0	10,947,000	2,897,000
その他事業収入	0	14,661,000	0	14,661,000	△ 383,406
指定管理料収入	2,000,000	0	0	2,000,000	0
雑収益計	200,000	562,000	815,000	1,577,000	695,326
事業活動収入計	2,700,000	26,170,000	7,158,000	36,028,000	2,580,920
2. 事業活動支出				0	0
事業費	6,142,000	19,051,428	0	25,193,428	2,540,671
期首棚卸高		8,395,428	0	8,395,428	△ 73,866
給料手当	4,802,000	0	0	4,802,000	△ 242,127
臨時雇用賃金	0	5,192,000	0	5,192,000	802,515
賞与	602,000	0	0	602,000	50,749
福利厚生費	292,000	279,000	0	571,000	74,380
旅費交通費	0	10,000	0	10,000	△ 41,268
通信運搬費	47,000	452,000	0	499,000	△ 30,371
消耗品費	0	430,000	0	430,000	259,942
修繕費	0	462,000	0	462,000	235,830
燃料費	0	246,000	0	246,000	△ 25,090
光熱水料費	387,000	1,375,000	0	1,762,000	337,130
賃借料	12,000	261,000	0	273,000	△ 608,606
委託費	0	2,455,000	0	2,455,000	892,134
広告宣伝費	0	145,000	0	145,000	58,536
資材費	0	2,310,000	0	2,310,000	568,312
原材料費	0	3,834,000	0	3,834,000	1,359,334
支払負担金	0	15,000	0	15,000	△ 194,060
支払手数料	0	117,000	0	117,000	△ 64,989
支払寄付金	0	12,000	0	12,000	△ 10,844
減価償却費	0	1,049,000	0	1,049,000	△ 635,260
交際費	0	5,000	0	5,000	2,840
雑費	0	101,000	0	101,000	101,000
租税公課	0	40,000	0	40,000	△ 400
保険料	0	81,000	0	81,000	△ 90,670
期末棚卸高	0	△ 8,215,000	0	△ 8,215,000	△ 184,480
管理費	0	0	10,625,000	10,625,000	633,256
給料手当	0	0	3,211,000	3,211,000	441,253
賞与	0	0	788,000	788,000	△ 29,715
福利厚生費	0	0	1,163,000	1,163,000	△ 175,919
旅費交通費	0	0	0	0	△ 21,552
交際費	0	0	5,000	5,000	△ 13,092
広告宣伝費	0	0	10,000	10,000	10,000
通信運搬費	0	0	487,000	487,000	160,510
消耗品費	0	0	320,000	320,000	70,084
修繕費	0	0	18,000	18,000	18,000
研修費	0	0	2,000	2,000	2,000
光熱水料費	0	0	421,000	421,000	136,876
賃借料	0	0	1,704,000	1,704,000	△ 377,562
保険料	0	0	210,000	210,000	912
会議費	0	0	12,000	12,000	△ 11,460
委託費	0	0	1,272,000	1,272,000	507,670
租税公課	0	0	858,000	858,000	△ 127,261
支払負担金	0	0	6,000	6,000	△ 44,750
支払手数料	0	0	64,000	64,000	19,262
減価償却費	0	0	38,000	38,000	38,000
雑費	0	0	36,000	36,000	30,000
事業活動支出計	6,142,000	19,051,428	10,625,000	35,818,428	3,173,927
事業活動収支差額	△ 3,442,000	7,118,572	△ 3,467,000	209,572	△ 593,007

令和8年度 一般社団法人大山田農林業公社予算総括表<続紙>

科 目	公益事業会計	収益事業会計	法人会計	合 計	R7予算差
Ⅱ. 投資活動収支の部	0	0	0	0	0
1. 投資活動収入	0	0	0		
特定預金収入	0	0	0	0	0
.	0	0	0		
投資活動収入計	0	0	0	0	0
2. 投資活動支出	0	0	0		
特定預金支出	0	0	0	0	0
.	0	0	0		
投資活動収支差額	0	0	0	0	0
Ⅲ. 財務活動収支の部	0	0	0	0	0
1. 財務活動収入	0	0	0		
2. 財務活動支出	0	0	0		
Ⅳ. 予備費支出	0	0	0	0	0
当期収支差額	△ 3,442,000	7,118,572	△ 3,467,000	209,572	△ 593,007
前期繰越収支差額	△ 11,224,755	△ 26,241,709	△ 8,233,733	△ 45,700,197	△ 2,869,421
次期繰越収支差額	△ 14,666,755	△ 19,123,137	△ 11,700,733	△ 45,490,625	△ 3,462,428

# 令和8年度公益目的事業予算表

令和8年4月1日～令和9年3月31日

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計			説 明
	令和7年度 予算額①	令和8年度 予算額②	増減 ②-①	
I. 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
事業収入	2,330,000	2,500,000	170,000	
農地中間管理事業収入	330,000	500,000	170,000	徴収小作料手数料
指定管理収入	2,000,000	2,000,000	0	
特産品事業収入	0	0	0	
その他	0	0	0	
補助金等収入	0	0	0	
伊賀市	0	0	0	
雑収益計	200,008	200,000	△ 8	農地中間管理事業業務委託費
事業活動収入計	2,530,008	2,700,000	169,992	
2. 事業活動支出	0	0	0	
事業費	6,515,579	6,142,000	△ 373,579	
委員報酬	0	0	0	
給料手当	5,044,127	4,802,000	△ 242,127	施設管理等職員給料・手当
賞与	551,251	602,000	50,749	
臨時雇用賃金	0	0	0	特産品開発雇人賃金
福利厚生費	252,900	292,000	39,100	社会保険料等
旅費交通費	0	0	0	研修旅費、廃食油回収
通信運搬費	48,762	47,000	△ 1,762	切手他
消耗品費	0	0	0	
修繕費	123,750	0	△ 123,750	施設修理費
印刷製本費	0	0	0	
燃料費	0	0	0	
光熱水料費	399,371	387,000	△ 12,371	菜の舎 電気・水道・ガス代
賃借料	0	12,000	12,000	支払小作料
委託費	0	0	0	廃液処理・電気保安業務
資材費	0	0	0	特産品開発
原材料費	0	0	0	特産品開発原材料
支払負担金	0	0	0	
支払手数料	0	0	0	
減価償却費	95,418	0	△ 95,418	
事業活動支出計	6,515,579	6,142,000	△ 373,579	
事業活動収支差額	△ 3,985,571	△ 3,442,000	543,571	

# 令和8年度 収益事業会計予算表

令和8年4月1日～令和9年3月31日

(単位:円)

科 目	収益事業会計			
	令和7年度 予算額①	令和8年度 予算額②	増減 ②-①	説 明
I. 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
事業収入	23,094,406	25,608,000	2,513,594	
農作業事業収入	2,817,366	2,290,000	△ 527,366	農業収入
施設利用収入	1,425,057	1,840,000	414,943	搾油施設利用料
特産品事業収入	8,050,000	10,947,000	2,897,000	
菜種油売払収入	10,801,983	10,531,000	△ 270,983	「七の花」販売代
受)補助金等収入	0	0	0	
雑収益計	230,201	562,000	331,799	ビン代他
事業活動収入計	23,324,607	26,170,000	2,845,393	
2. 事業活動支出	0	0	0	
事業費	16,137,178	19,051,428	2,914,250	
期首棚卸高	8,469,294	8,395,428	△ 73,866	
給料手当	0	0	0	
臨時雇用賃金	4,389,485	5,192,000	802,515	売上高増加に伴う
賞与	0	0	0	
福利厚生費	243,720	279,000	35,280	社会保険料等
旅費交通費	51,268	10,000	△ 41,268	イベント参加旅費他
通信運搬費	480,609	452,000	△ 28,609	通販商品送料
消耗什器備品費	0	0	0	
消耗品費	170,058	430,000	259,942	加工所消耗品
修繕費	102,420	462,000	359,580	
租税公課	40,400	40,000	△ 400	
燃料費	271,090	246,000	△ 25,090	自動車燃料
光熱水料費	1,025,499	1,375,000	349,501	加工所電気・ガス代
賃借料	881,606	261,000	△ 620,606	調理機械リース料
保険料	171,670	81,000	△ 90,670	
委託費	1,562,866	2,455,000	892,134	菜種刈取委託
資材費	1,741,688	2,310,000	568,312	容器等資材
原材料費	2,474,666	3,834,000	1,359,334	米単価上昇等
支払負担金	209,060	15,000	△ 194,060	直売所負担金等
支払手数料	181,989	117,000	△ 64,989	振込手数料
支払寄付金	22,844	12,000	△ 10,844	
減価償却費	1,588,842	1,049,000	△ 539,842	建物・什器減価償却
交際費	2,160	5,000	2,840	
広告宣伝費	86,464	145,000	58,536	正月餅チラシ配布
雑費	0	101,000	101,000	
期末棚卸高	△ 8,030,520	△ 8,215,000	△ 184,480	
事業活動支出計	16,137,178	19,051,428	2,914,250	
事業活動収支差額	7,187,429	7,118,572	△ 68,857	

# 令和8年度 法人会計予算表

令和8年4月1日～令和9年3月31日

(単位:円)

科 目	法人会計			説 明
	令和7年度 予算額①	令和8年度 予算額②	増減 ②-①	
I. 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
預り出資金運用収入	0	44,000	44,000	
預り出資金利息収入	0	44,000	44,000	
会費収入	6,641,000	6,299,000	△ 342,000	
伊賀市	4,000,000	4,000,000	0	
伊賀ふるさと農協	500,000	500,000	0	
地元農家	2,111,000	1,769,000	△ 342,000	
森林組合	30,000	30,000	0	
入会金			0	
補助金等収入	500,000	0	△ 500,000	
伊賀市	500,000	0	△ 500,000	
その他	0	0	0	
雑収益計	451,465	815,000	363,535	
			0	
事業活動収入計	7,592,465	7,158,000	△ 434,465	
2. 事業活動支出			0	
管理費	9,991,744	10,625,000	633,256	
給料手当	2,769,747	3,211,000	441,253	
賞与	817,715	788,000	△ 29,715	
臨時雇用賃金	0	0	0	
福利厚生費	1,338,919	1,163,000	△ 175,919	社会保険料等
会議費	23,460	12,000	△ 11,460	
旅費交通費	21,552	0	△ 21,552	出張旅費
交際費	18,092	5,000	△ 13,092	
通信運搬費	326,490	487,000	160,510	電話・ケーブルTV・切手代
消耗品費	249,916	320,000	70,084	事務・管理用品
修繕費	0	18,000	18,000	自動車車検・修理
印刷製本費	0	0	0	総会資料・封筒等印刷
光熱水料費	284,124	421,000	136,876	電気・水道・ガス代
賃借料	2,081,562	1,704,000	△ 377,562	借地料・コピー、防犯
保険料	209,088	210,000	912	建物・車両保険
広告宣伝費	0	10,000	10,000	Web広告等
委託費	764,330	1,272,000	507,670	浄化槽保守委託料他
租税公課	985,261	858,000	△ 127,261	法人税・固定資産税・消費税
研修費	0	2,000	2,000	Dx戦略研修費
支払負担金	50,750	6,000	△ 44,750	観光協会等負担金
支払手数料	44,738	64,000	19,262	浄化槽点検手数料他
減価償却費	0	38,000	38,000	建物減価償却
雑費	6,000	36,000	30,000	
事業活動支出計	9,991,744	10,625,000	633,256	
事業活動収支差額	△ 2,399,279	△ 3,467,000	△ 1,067,721	